



らいぶらり高砂

平成21年10月号[2009]

発行 高砂市立図書館

高砂市曾根町2301-1

電話 079(448)8333

開館時間 9:30 ~ 18:00

～ 秋のお薦め図書 ～

沈まぬ太陽 1～5巻 山崎 豊子 著 [新潮社]

[STORY]

広大なアフリカのサバンナで、巨象に狙いをさだめ、猟銃を構える一人の男がいた。恩地元、日本を代表する企業・国民航空社員。エリートとして将来を嘱望されながら、中近東からアフリカへと、内規を無視した「流刑」に耐える日々は十年に及ぼうとしていた。人命をあずかる企業の非情、その不条理に不屈の闘いを挑んだ男の運命。人間の真実を問う壮大なドラマが、いま幕を開ける。

昭和30年代から、60年代という、終戦から復興を遂げた日本が経済大国へと急成長した激動の時代に、未曾有の航空事故、政界汚職という、波乱の舞台は、日本のみならず、中東、アフリカ、アメリカへと壮大なスケールで、感動と慟哭の熱い人間ドラマが展開します。この秋の夜長にぜひ手にとってみてください。

◇作家特集 その18 『井上 荒野 (いのうえ あれの)』

○プロフィール

1961年、東京生まれ。小説家井上光晴の長女。1989年、「わたしのヌレエフ」で第1回フェミナ賞を受賞してデビューするが、その後小説を書けなくなる。絵本の翻訳などしていたが、2001年に「もう切るわ」で再起。2004年、「潤一」で第11回島清恋愛文学賞を受賞。2008年、「切羽へ」で第139回直木賞を受賞。

○主な作品

「静子の日常」(中央公論新社)、「あなたの獣」(角川書店)、「切羽へ」(新潮社)

「しかたのない水」(新潮社)、「不恰好な朝の馬」(講談社)、「ベーコン」(集英社)

※1階の展示コーナーに所蔵する「井上荒野作品」を並べています。

ぜひご覧ください。

■ 図書館カレンダー

10月 [2009]						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月 [2009]						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ 児童向けの行事（申し込み不要・無料）

★ えほんのじかん

10月3日（土）午後2時～【約20分】
 図書館 児童室。 3, 4歳から
 絵本の読み聞かせを行います。

絵本 : 「だいくと おにろく」
 「きこりと おおかみ」



★★ おはなし会

10月10日（土）午後2時～【約30分】
 図書館 児童室。 5, 6歳から
 絵本の読み聞かせとストーリーテリング。

お話 : 「たろうの ともだち」
 絵本 : 「ワニの ライルが やってきた」
 「ぷかぷか ティッチ」



2009 第63回 読書週間

「思わず夢中になりました。」

10月27日（火）～11月9日（月）

終戦まもない昭和22年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。

そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはわかりありません。

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとり入れていきませんか。

（社団法人 読書推進運動協議会 より）

※「らいぶらり高砂」は、『高砂市HP』に掲載しており、バックナンバーも閲覧できます。